

# 第2次国分寺市ビジョン等策定検討委員会（第4回）要点記録

日 時：令和6年7月9日（火）午後7時～午後9時

場 所：国分寺市役所 第一・第二委員会室

出席者：牛山委員長、山岸副委員長、山下委員、井上委員、田窪委員、森木委員、藤原委員、  
安東委員、内藤委員、前田委員、小田委員、関口委員、出町委員、小柳委員

欠席者：富田委員、鈴木委員、松本委員

## 次第

- 1 開会の挨拶

## 議事

- 1 第2次国分寺市総合ビジョンの策定状況について（資料1、資料2）
- 2 新たな「分野別の都市像」及び施策体系の案について（資料3、資料4）
- 3 その他

（会議録）

## 次第

### 1 開会の挨拶

委員長より開会の挨拶を行った。

## 議事

### 1 第2次国分寺市総合ビジョンの策定状況について

事務局より資料1と資料2に基づき説明を行った。

#### 【資料1】

委員：パブリック・コメントの内容は主にどのような内容であったか。

事務局：パブリック・コメントでは、漢字の使い方や、国分寺市ビジョン案の中の「国分寺市には貴重な史跡・文化財が多く残されています」という記載に対して、学術的には史跡と文化財は併記できるものではない、という指摘など、幅広い御意見をいただいている。

委員長：パブリック・コメントの市民説明会の参加者が少ないように見られるが、説明会の周知はどのように行ったのか。

事務局：市報や市ホームページ、X（旧Twitter）などで周知を行った。市民説明会の参加者は少なかったと感じているが、ワークショップでは多くの方に御参加いただいている。パブリック・コメント等でいただいた御意見について、1つずつ丁寧に対応して

いく。

### 【資料2】

副委員長： 1点目として、グラフィックレコーディングは一般に公開されているのか。2点目は、グラフィックレコーディングにて記載されていない意見は記録として残してあるのか。参加者の意見を絵で表すことは、分かりやすさや見やすさの観点で評価できるが、意見内容の分布が見えないのではないかと思う。

事務局： 1点目について、グラフィックレコーディングは、市議会でも報告している他、市ホームページにて公表をしている。2点目について、グラフィックレコーディングにて記載されていない意見についても、どのような意見があったか等を一覧にしてまとめている。本会議では、詳細な意見よりも話し合いの結果を分かりやすくまとめたグラフィックレコーディングを共有させていただいている。

委員： 資料2の4ページのグラフィックレコーディングに、「外国語学生の活躍の場を」という記載があったが、具体的にはどのような内容であったか。

事務局： 当該意見が出たグループにおいては、国分寺市の理想像として「東京で一番国際交流が盛んであるまち」を掲げており、達成するための施策が、外国人学生に英会話の講師になってもらう、というものであった。

委員： 資料2の6ページの職員ワークショップにおいて、「地域振興」の分野で「変更すべき点」に記載があるが、どのような経緯か。

事務局： 現行ビジョンの施策体系において、「人権・男女平等・平和」という施策が「子ども・学び・文化」の分野に分類されている。しかし、ワークショップの中で、「地域振興」の分野にあてはまるのではないかという意見が出たため、その旨記載している。また、「スポーツ振興」についても同様の理由で、「地域振興」の分野から「文化」の分野への位置付けが良いのではないかという意見が出たため、その旨記載している。

委員長： パブリック・コメントの市民説明会について、ワークショップの参加者に周知を行ったか。

事務局： 市民説明会の開催日とワークショップの開催日のタイミングが合わず、周知ができなかったが、ワークショップの開催日がパブリック・コメントの募集期間中であったため、意見募集についての呼びかけを行った。

## 2 新たな「分野別の都市像」及び施策体系の案について

事務局より資料3に基づき説明を行ったのち、資料4を用いて新たな「分野別の都市像」及び施策体系の案の内容の検討、グループでの意見交換、全体への共有を行った。

### 【資料3】

委員長： 資料3の5ページの、「未来のまちの姿」に関して、ビジョンの策定から8年間は変更しない認識で問題ないか。

事務局：ご認識のとおり、「未来のまちの姿」は8年間変更しない想定である。なお、分野別の都市像については、社会情勢の変化によって変更が生じる可能性もある。

【資料4】

(A班)：○分野別の都市像①「子どもを育み、学びがつながるまち」

【良い点】

・子どもの分野を1番に設定しているのが良いという意見が多かった。

【改善点】

・子どもだけでなく子どもの育ちを支える関係者も成長していくため、「ともに」という文言を記載すると良い。

・「学びのつながり」という部分が捉え方によっては分かりにくいのではないかな。

・「自己実現」が子どもたちの自己実現と考えると、それがまちの活性化につながるかが考えづらい。

・「国分寺市」らしさが分かると良いので、「まちの未来」の部分を「国分寺の未来」にしたかどうか。

○分野別の都市像③「自分らしくいきいき暮らせるまち」

【良い点】

・人権に係る内容が網羅的にまとめられている。

【改善点】

・「子どもから高齢者まで」などと対象者を限定せず「すべての人」という記載にして、そこから細かい部分で高齢者等に言及していく方がスムーズであると思う。

○その他の意見

・分野別の都市像⑤「未来につながる持続可能なまち」の説明部分について、「しなやか」という文言は、解釈の齟齬を生む可能性があるため、記載する必要はないという意見が出た。

(B班)：○分野別の都市像②「活気あふれる成長のまち」

【良い点】

・キーワードとして「都市農業」や「国分寺ならでは」などの文言が記載されている点が良いという意見が出た。

・「広く発信」という点について、今の時代に必要なため良いという意見が出た。

【改善点】

・「活気があるまちを実現するためには」の後に「歴史、文化」と続いており、活気とつながりが悪いのではないかなという意見がでた。

・国分寺の個性として、「歴史、文化、都市農業」以外にも多々あるので、「など」を追記した方良いという意見が出た。

・「スポーツ」に関する文言を入れても良いのではないかなという意見が出た。

・「文化」の定義があいまいであり、伝わりにくいという意見がでた。

○分野別の都市像③「自分らしくいきいき暮らせるまち」

【良い点】

- ・「国籍」「多文化」「共生社会」の要素が組み込まれているのが良い。

【改善点】

- ・「様々な価値観がつながることで、人もまちも更に輝いて」という文章について、伝わりにくく他の表現があるのではないかという意見が出た。
- ・様々な人を表現しているため、「経済的な環境に置かれた人」の視点についても記載があると良いという意見が出た。

(C班) : ○分野別の都市像④「安全・安心で快適なまち」

【良い点】

- ・現行ビジョンになかった「インフラ」について、新たに記載されたことは、市民が考える課題に寄り添ったものであり、評価したい。

【改善点】

- ・憩いの場として、公園や緑地以外にもあるのではないかという意見が出た。
- ・「ハードとソフトの両面で」と記載があるが、「ハード面を基盤にソフト面を活性化」という記載の方がつながるのではないか。
- ・「学びや文化活動、経済活動が活性化し」という部分について、経済活動の活性化につながることは分かるが、学びと文化活動の活性化という部分は唐突感がある。
- ・現行ビジョンでは記載されている「防災」について言及されていないため、追加すべきという意見がでた。

○分野別の都市像⑤・未来につながる持続可能なまち」

【良い点】

- ・「デジタル化」や「脱炭素」についての記載や、それが「他の分野に波及している」と説明している点が良い。また、それが「持続可能なまちづくりにつながる」と記載されているため分かりやすい。

【改善点】

- ・市民の利益にどのようにつながるのかが分かりにくい。
- ・「変化に適応し」から最後の文章にかけて、内容を詰め込みすぎて分かりづらい。

事務局 : 各グループの発表を受けて、委員長・副委員長からコメントをいただきたい。

副委員長 : 分野別の都市像の概要における用語や文法、表現の指摘が多かったように感じしており、指摘を踏まえて検討していく必要がある。国分寺をどのようなまちにするかという視点で、まちや行政の在り方について様々な部分でアップデートしていく必要がある。

また、子どもの分野について、学ぶのは子どもだけではなく、大人も学ぶ機会があるため、自己実現をして経験から得た知識をつなげていくことがまちの活性化につながる要素としてあるのではないかと考える。

委員長 : 用語や表現について、固くならないように記載しているが、それにより意味が曖昧になる部分や逆にたくさん説明すると分かりづらくなる部分が出てしまったため、「市民への伝わりやすさ」という点に立ち返り見直す必要がある。

分野別の都市像③「自分らしくいきいき暮らせるまち」の部分では、「子ども」と「高齢者」の観点は両方重要であるため、市民の意見をもとに検討していくのが適切ではないかと考えている。また、分野別の都市像の④「安全・安心で快適なまち」に

ついて、防災については様々なことが危惧されており関心が高まっているので、どのように表現していくかは本日の議論のとおりである。

委員： 行政の政策を進めていくためには、エビデンスを基にした政策が必要であると考え  
る。例えば、分野別の都市像③「自分らしくいきいき暮らせるまち」について「国籍  
を超えて互いを理解する」という旨の記載があるが、政策を進めていくためには、何  
らかの調査が必要であると考え。

委員長： 今後、計画策定に当たってエビデンスをどのように求めるか、御協力をいただきな  
がら進めていくということで御意見として承る。

### 3 その他

事務局： 次回の委員会は8月2日（金）18：30から開催することを考えている。次回は、パ  
ブリック・コメントを取りまとめた上で、市の考え方の概要や方向性を示す予定であ  
る。また、分野別の都市像や施策体系を再度事務局で検討し、検討結果を示したいと  
考えている。

委員長： これをもって第4回第2次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会を閉会する。

以上